

やまなみ

広報 NO.56

生駒市人権教育推進協議会

事務局 生駒市総務部人権施策課内

TEL 0743-74-1111

email: jinkenkyouiku@city.ikoma.lg.jp

発行 2025年5月23日

人権教育講座 「山びこ」

人権教育講座「山びこ」は、1年に7回、さまざまな人権課題について毎回異なるテーマで講師をお招きし、開催している講座です。園や学校の保護者、市人推協の会員、民生委員・児童委員、市の職員のみなさんに受講していただいておりますが、昨年度から広報「いこまち」やポスターなどを通じて広く市民の方にも参加を呼びかけました。2024年度に実施した第4回から第7回（生駒市人権教育推進協議会研究大会記念講演）の内容を紹介します。

第4回
11月15日(金)

「私たちの身近にある性暴力」～まずは知ることから～

講師：NPO法人アットリンク奈良 理事長 竹谷 栄美さん



性暴力被害者にもっと寄り添い、息の長い支援をしていきたいという思いから、竹谷さんは2021年にアットリンク奈良を設立されました。日本ではまだオープンには話しにくい性被害の問題。竹谷さんは性暴力被害が心身に及ぼす影響や、周囲の言動によって被害者がさらに傷つけられる二次被害について、丁寧に話してくださいました。また、性被害の話を打ち明けられたらどんな対応や言葉をかけることが良いのかを詳しく説明していただきました。参加者からは「私の体は私のもの」自分のことを自分で守れるよう我が子にも伝えてい

きたい」「誰にも言えない、言っても聞いてもらえない、そんな子ども時代でした。今回の話のような考え方がもっと広く認知されてほしいです」などの感想が寄せられました。

第5回
12月13日(金)

「人と人をつなぐ手話」

講師：手話通訳士 小川 周子さん



小川さんは手話通訳士として奈良県内各地はもちろんのこと、大阪の柏原市などで幅広く活動していらっしゃいます。自分自身が手話を通して出会ってきた、魅力的な、聞こえない人との出会いを経て「聞こえないことは不便だけれど不幸ではない」という事を確信されました。また講演の中では、災害時に伝えられるよう“危険、逃げて、大丈夫、安心、安全”などの手話とあいさつの手話を、受講者の方に一緒にして頂きながら学んでいただき、「手話を学ぶには聞こえない人から学ぶのが一番！人と人をつなぐ、それが手話です」と、締め

くくられました。参加者からは、「自分ができる事をしていきたい」「今日学んだことを子どもにも伝えたいと思った」「話がとてもわかりやすく手話に興味を持った」など多くの感想をいただきました。

第6回
1月24日(金)

じんけんひろば
講演会

「人」という字は、支え合い、任せあう

講師：真宗興正派/布教使/教誨師 片岡 妙晶さん



今年のじんけんひろばでは、引きこもりの経験をもつ僧侶であり教誨師である片岡妙晶さんに、仏の教えを交えながら、普段とは一味違う切り口から、自らの生への向き合い方や他者との付き合い方を話していただきました。受講者の方は、片岡さんの穏やかで優しい語り口に、「心地よかった」「心にしみた」と、少し難しく思うような内容でも、とても聞きやすく分かりやすかったと感想を書いてくださいました。「ふだんの自分をふりかえることができた」など、今までの自分の生き方や他者とのかかわり方について、改めてじっくり向き合う時間を持っていたようです。そして、お話をきいて「どんな自分の非も認めて、他者も受け入れる気持ちを忘れず行動したい」「苦悩があっても、…乗り越えられると信じて生きていきます」と、これからの自分についても、思いを新たにすることができた講演会になりました。

第7回
2月21日(金)

第52回生駒市人権教育推進協議会研究大会

活動報告：生駒市家庭教育支援チーム「たけのこ」

代表 岡島 保弘さん



家庭教育支援チーム「たけのこ」は、家庭教育・子育て支援に関心のある市民とのワークショップを経て、2018年3月に発足し、子育てに対する不安解消や地域とのつながりづくりなどを目的として活動を始められました。子育て経験豊富な市民、元教員やPTA役員をはじめ、子育て支援に関わる様々な人々で構成され、身近な地域で子育てや家庭教育に関する相談にのったり、親子で参加する取り組みや学習会などを開催されたりしています。具体的には、子育てについてのワークショップの開催や「リフレーミング」(同じ物事でも「とらえ方」を変えることで短所が長

所に置き換わる表現方法：「集中力がない」ではなく「いろんなことに興味をもてる」など) について学習する講座の開催などです。その間、子どもたちは体育館などでダンスをしたり、バルーンで遊んだり、元気に活動しているそうです。ホームページやLINEを使って、活動の様子を発信されていますので、ぜひご覧ください。



記念講演 「誰ひとり取り残されないまちづくり」 ～フル・インクルージョンをめざして～

講師：一般社団法人兵庫県相談支援ネットワーク代表理事 NHKEテレ「バリバラ」ご意見番 玉木 幸則さん



講演は「言語障害があり、最初は聞き取りにくいこともあるかと思う。話を聞きとれるだろうか、理解できるだろうかと不安に思っていることもあると思う。意識して聞いてもらっていると聞こえてくる。」という言葉から始まりました。話の中で「バラエティって…何?」「マイノリティーってなあに?」「障害ってなあに?」と問いかねられるたびに、一面的な捉え方ではなく、多様な捉え方をする必要のあることを感じました。参加者からも「今まで障害に対する偏見があったのではないかと考えさせられました」「そういう考え方があるのかと改めて気づかされた」との感想や「お話を聞いて目からうろこが落ちた」との感想をたくさん寄せていただきました。また、「お話された内容を一つも聞き漏らすことなく心に留めたい!と思うほど、心に響きました」との感想にあるように、玉木さんが最初におっしゃった私たちの意識の持ちようによって、聞きづらさは感じず、話に引き込まれていました。

今後の私たちの生き方や行動、社会のありようにも目を開かされる講演となりました。

2025年度 山びこ

今年度の人権教育講座「山びこ」も、各分野で活躍されている方を講師にお招きしました。人との関りや人権について考えるとき、きっとあなたのプラスになる講座です。

生駒市人権教育推進協議会・生駒市

	開催日・会場	テーマ	講 師	
第1回	7月12日(土) 13:00～15:00 たけまるホール (大ホール)	笑って考えよう！ 家庭のこと、 仕事のこと、未来のこと ～男の家事が社会を救う～	東京大学大学院 総合文化研究科教授 せ ち や ま か く 瀬地山 角 さん	●子育て中のパパ、ママ、そしてこれから生駒で暮らす人必見！生駒市出身で「世界一受けたい！東大生が選ぶNO.1教授」の瀬地山さん。ジャンボ宝くじが必ずあたる講演？！として全国で評判です。
第2回	9月19日(金) 10:00～11:30 コミュニティセンター (セイセイビル内) 文化ホール	私たちの伝えたいこと	若年性認知症当事者 よ こ た ひろゆき 横田 宏之 さん 若年性認知症当事者 は や し さ え こ 林 佐江子 さん 有限会社エイジング [kumiki2nd] 管理者 ふ じ た こう じ 藤田 浩司 さん	●横田さんと林さんは認知症への理解を深めるための周知活動や講演を行ってられます。お二人に当事者としての「生の声」を発信していただきます。また、お二人の日常生活を支える介護施設の藤田さんに認知症を患う人との接し方や支援について話していただきます。
第3回	10月17日(金) 10:00～11:30 コミュニティセンター (セイセイビル内) 文化ホール	ハラスメントと人権 ～人間関係を 円滑にするために～	特定社会保険労務士 OFFICE KITABA 代表 き た ば よ し み 北場 好美 さん	●2010年に社会保険労務士事務所を開設。「人を大切にして成果をあげる」組織風土が大切との考えから「いい会社」作りのためのアドバイスを引っ張り回しています。また、持続可能な社会構築のためSDGsに関するセミナーなどにも取り組まれています。
第4回	11月14日(金) 10:00～11:30 コミュニティセンター (セイセイビル内) 文化ホール	ヤングケアラー ～家族をケアし、支える 子どもたち～	京都光華女子大学教授 社会福祉士・精神保健福祉士 公認心理士 お ち の り こ 越智 紀子 さん	●ヤングケアラーという言葉が広く知られるようになりました。支援の必要性が認識されつつある中で、「どう関わればいいのか…」と戸惑う方も少なくありません。そこで今講座ではヤングケアラーと呼ばれる子どもの実情や支援の取り組みを踏まえ、私たちにできることを一緒に考えたいと思います。
第5回	12月12日(金) 10:00～11:30 コミュニティセンター (セイセイビル内) 文化ホール	ウトロで終わらない、 ウトロの話 ～差別と分断を 乗り越えた力～	ウトロ平和祈念館副館長 き む す ふ あ ん 金 秀 煥 さん	●宇治市ウトロ。ここには朝鮮半島の歴史、日本で生きてきた在日コリアンの歴史があります。14年間ウトロで活動しながら感じた様々な困難と課題を乗り越えた同地区の歴史の意味について、お話いただきます。
第6回	1月24日(土) 13:30～15:00 コミュニティセンター (セイセイビル内) 文化ホール	平和・人権コンサート みんな大切な命	ヒロシマのソプラノ歌手 お お し ま く み こ 大島 久美子 さん	●人類は平和を願い、平和の尊さを叫び続けているのに、一向に戦争がなくなるのはなぜでしょうか？平和とは何か。それぞれの立場で、改めて考える時間を、歌と共に穏やかに過ごしたいと思います。
第7回	2月28日(土) 13:30～16:00 コミュニティセンター (セイセイビル内) 文化ホール	市人推協研究大会記念講演 ヤブにもなれない タケノコ医者 ～父との約束～	医療法人水野クリニック (大阪府河内長野市)理事長 医学博士(内科・循環器内科) み づ の た く ろ う 水野 宅郎 さん	●鑑別所・少年院を経て猛勉強し医学部へ進学。卒業後は多様な医療現場で経験を積み、河内長野市で父の医院を継承。『患者の想いに応える』を理念に、地域医療や終末期医療にも尽力しておられます。

問い合わせ

生駒市人権教育推進協議会(生駒市役所人権施策課内) 0743(74)1111

新しい「じんけんDVD」の紹介

「あなたのいる庭」 (35分)



阪神・淡路大震災で夫と幼い娘を亡くし、心を閉ざしたまま生きる主人公・和佳奈の唯一の心の拠り所は、自宅の庭で花や野菜を育てること。だがある日、大切に育てていたトマトの芽が何者かに踏みつけられていた。誤って庭に入ってしまったと謝罪に訪れたのは児童養護施設・のじぎく園で暮らす実結と玲央。自分たちで植え直すという実結の申し出を、和佳奈は突き放す。その後偶然再会した実結と和佳奈。苗の植え直しを手伝ってほしいと改めて頼んだことから二人の交流が始まる…。

人権をテーマにしたDVDの貸し出しをしています。人を大切にする、自分らしく生きること、多様性を認めること、人とつながりをつくることなど、さまざまなテーマのDVDがあります。

自治会や各種団体の集まり、サロン、幼稚園、保育園、こども園、学校、PTA・育友会、子ども会、同好会やサークル、ご家庭や個人など、人数の多少にかかわらずご利用ください。

現在85本の作品をそろえています。各DVDの内容を紹介した冊子「じんけんDVD2025」も用意しています。

「みんな笑顔になる日まで」 (30分)



主人公・西崎 葵は若年性認知症の父親を持つ中学生。仕事に追われる母親の代わりに家事や妹の世話を担っている。家で勉強する時間をとることもままならず、学校でうたた寝をするほど負担を強いられていた。ある日、ささいなことから葵は妹・由奈とけんかをしてしまう。その様子を目にして、いたたまれなくなった父・伸行は思わず家の外に出てしまう。伸行がいなくて気づいた葵は探しに行く。そんな少女の存在に気づいた地域の住民がとった行動とは…？

2024年度の貸出 ランキング

- 1位 「親愛なる、あなたへ」
「むしむし村の仲間たち」
- 2位 「老いを生きる」
- 3位 「夕焼け」
「ヒーロー」

ここに紹介したもの以外に子ども向けの作品や、様々な課題をとらえた作品があります。気軽にお問合せください。

生駒市人権教育推進協議会(生駒市役所人権施策課)
TEL 0743-74-1111

※各DVDの写真は、兵庫県人権啓発協会、東映株式会社の資料です。許可を得て掲載しています。